

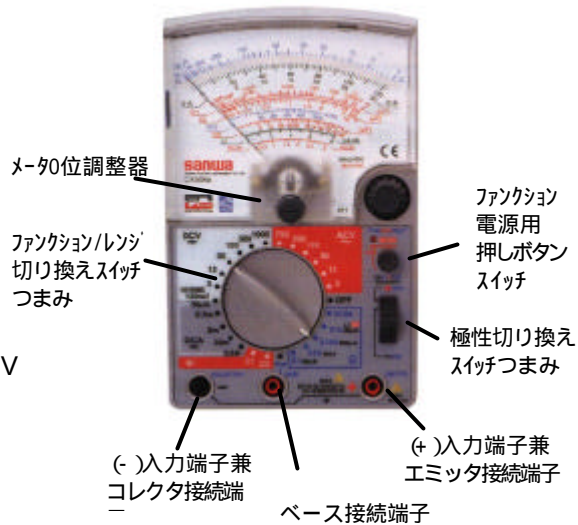
EA707G-22  
(アナログマルチテスタ)

用途

小型の通信機器や家電製品、電灯線、各種電池の測定はもちろんのこと、コンデンサの静電容量測定やトランジスタチェックとしても使用できます。

特長

- ・6ファンクション/26レンジの機能
- ・高感度とトートバンドメーター採用でDCMは50k /Vと高入力抵抗
- ・ワイドな静電容量測定機能付き  
(内臓発振器、抵抗レンジ使用)
- ・電源スイッチ固定機能により静電容量の連続測定可能、電源ON表示ランプで電源のON、OFFが確認できる親切設計。
- ・+、- 極性切り換えSW付 (DCVとDCAファンクション)
- ・簡易トランジスタチェック機能付

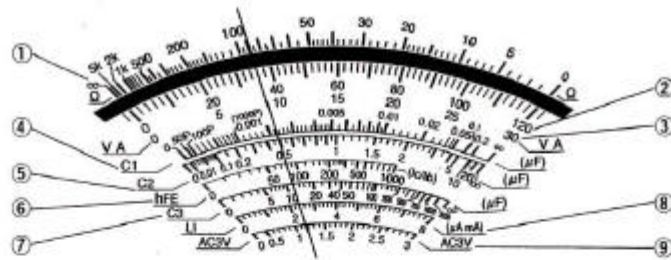


仕様

- AC整流方式...半波整流
- メーター仕様...内磁型トートバンド、15μA
- 許容差保証温室度範囲...23±2、75%RH以下、結露のないこと
- 使用温湿度範囲...5~40、5~31で80%RH(最大)、31~40では80%RHから50%RHへ直線的に減少、結露のないこと
- 保存温室度範囲...-10~50、70%RH以下、結露のないこと  
(長期保管時には、内臓電池を取り外して下さい)
- 使用環境...高度2000m以下、汚染度、屋内使用
- 内臓電池...R6(単3)型15V×2、6F22(積層型)9V×1
- 内臓ヒューズ...500mA/250V(5×20mmセミック管)、速断型、遮断容量1500A
- 寸法...165(H)×106(W)×46(D)mm
- 重量...350g
- 付属品...テストリード、クリップ付リード、予備ヒューズ0.5A/250V、(本体内蔵)、取扱説明書

	測定レンジ	許容差
直流電圧	120m(4k) / 3/12/30/120/300(50k /V) / 1000V(15k /V)	120m : ±4% ±2.5%以内
交流電圧	3/12/30/120/300/750V(8k /V)	±3%以内(12V以下 : ±4%以内)
直流電流	30μ / 0.3m / 3m / 30m / 0.3A	±2.5%以内
抵抗	5/50/500 / 5k / 50k	目盛長の ±3%以内
コンデンサ容量	C1 : 50p ~ 0.2μ C2 : 0.01μ ~ 20μ F C3 : 1 ~ 2000μ	C1/C2 : 目盛長の ±6%以内 C3 :-

## 指示の読み取り方



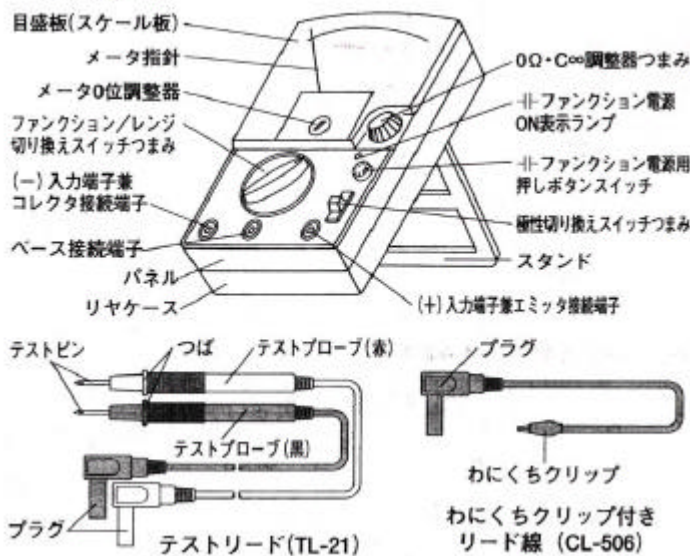
使用レンジ	読み取り倍率	使用レンジ	読み取り倍率	使用レンジ	読み取り倍率			
① Ω X10k	X10k	③ DCV 300	X10	④ C1	X1			
	Ω X1k		X1k		⑤ C2	X1		
	Ω X100		X100			⑥ hFE	X1	
	Ω X10		X10				⑦ C3	X1
	Ω X1		X1	⑧ 80mA	X10			
② DCV 1000	X10	③ DCmA 30μ	X1		⑧ 8mA	X1		
	DCV 120		X1			⑧ 800μA	X100	
	DCV 12		X0.1				⑧ 80μA	X10
	DCV 120m		X1					⑨ ACV 3
	ACV 750		X10	DCmA 0.3	X0.01			
ACV 120	X1	DCmA 3	X0.1					
ACV 12	X0.1	DCmA 30	X1					
		DCmA 0.3A	X0.01					

注) 指示はなるべく指針の真上で読み取ってください。

## ●上図指針位置での読み取り例

ファンクション	レンジ	目盛番号	読み取り方	読み取り結果
Ω	X100	①	89×100	8900 [Ω] = 8.9 [kΩ]
DCV	120V	②	36×1	36 [V]
ACV	3V	⑨	1.17×1	1.17 [V]
DCmA	3mA	③	9×0.1	0.9 [mA]

## 各部の名称



## 機能説明

### ① スイッチ・調整器

- ① ファンクション/レンジ切り換えスイッチ  
つまみを回すことによりファンクションおよびそのレンジを切り換えることができます。
- ② メータ0位調整器  
この調整器を(－)ドライバーで回して、メータの指針を目盛左端の0位に合わせます。
- ③  $0\Omega \cdot C\infty$ 調整器  
抵抗( $\Omega$ )、静電容量( $C1\sim C3$ )、 $h_{FE}$ 測定のために使います。測定前にテストピンをショートしてこのつまみを回し、 $\Omega$ 測定と $h_{FE}$ 測定は目盛の0に、 $C1\sim C3$ 測定の場合は各C目盛の $\infty$ にメータの指針を合わせます。
- ④  $\pm$ ファンクション電源用押しボタンスイッチ  
静電容量( $C1, C2$ )を測定するときには、このボタンを操作し、電源をONの状態にして測定します。ボタンを指先で押すと、電源はON、離すとOFFになります。ボタンを押しながら右へ約 $45^\circ$ 回すとボタンは沈んだまま固定され、電源は連続ONの状態になります。測定終了後は電池の消耗を防ぐため、必ずボタンを左に回して電源をOFFにします。
- ⑤  $\pm$ ファンクション電源ON表示ランプ  
 $\pm$ ファンクションの測定用電源がONのときに点滅します。
- ⑥ 極性切り換えスイッチ  
DCV、DCAの各ファンクションでの測定時に、極性切り換えスイッチを切り換えると測定端子の極性の $\pm$ が反転します。従って、メータの指針が逆方向(一方)に振れたとき、このスイッチを一方に切り換えることにより、テストリードの接続を変えずにメータを $\pm$ 方向に振らすことができます。(通常は $\pm$ 側にしておきます)

### 内蔵電池の交換方法

- ① リヤケース取り付けネジを緩めてリヤケースをパネルからはずし、更に、消耗した1.5V電池(R6型)2本または9V電池(6F22型)1本をはずします。
- ② 新品の電池を電池ホルダへ $\pm$ 、一の極性を間違わないように、確実にはめ込みます(1.5V電池は新旧電池を混用しないこと)。  
**★電池ホルダへ電池を逆極性に入れるとヒューズがしゃ断します。**
- ③ パネルとリヤケースをしっかりとめ合わせネジ止めします。

### 内蔵ヒューズの交換方法

$\Omega$ やDCAファンクションに誤って電圧(100Vの電灯線電圧など)を加えようと、安全のため内蔵ヒューズがしゃ断します。ヒューズがしゃ断すると本器は全く動作しなくなります。

- ① リヤケース取り付けネジを緩めてリヤケースをパネルからはずします。
- ② 回路基板上のヒューズホルダから溶断したヒューズを抜き取り、新品のヒューズと交換します(予備ヒューズをご利用ください)。
- ③ リヤケースを元通りネジ止めします。
- ④ 各ファンクションの指示が正常に動作するかチェックします。
  - ヒューズのしゃ断と同時に回路部品が焼損して動作不良となることがあります。
  - ヒューズの定格: 500mA/250V(φ5×20mmセラミック管) 速断型、しゃ断容量1500A、商品番号F1176

